

Odds Park Club

vol.57

2020.4~6

金沢競馬場特集

ジョッキーインタビュー
中島龍也 騎手



Graded Dirt Races

- 4/ 2 マリーンカップ JpnⅢ(船橋)
- 4/ 8 東京スプリント JpnⅢ(大井)
- 5/ 4 かきつばた記念 JpnⅢ(名古屋)
- 5/ 5 かしわ記念 JpnⅠ(船橋)
- 5/ 6 兵庫チャンピオンシップ JpnⅡ(園田)
- 5/27 さきたま杯 JpnⅡ(浦和)
- 6/ 4 北海道スプリントカップ JpnⅢ(門別)
- 6/10 関東オークス JpnⅡ(川崎)
- 6/24 帝王賞 JpnⅠ(大井)

歴史の ひとコマ 金沢競馬場

世界の女性騎手が集った舞台

今年2～3月にかけて、高知・佐賀・名古屋で行われたレディスヴィクトリーラウンドは、フランスのミカエル・ミシェル騎手の参戦もあって盛り上がった（と思われる。この原稿を書いている時点ではまだ名古屋ラウンドが終わっていない）。

地方競馬ではこれまでさまざまに女性騎手の交流戦が行われてきたが、元号が平成に変わった89年から93年まで、海外の女性騎手を招待し、地方競馬の各地を転戦して争われる『インターナショナルクイーンジョッキーズシリーズ（IQJS）』（89・90年はインターナショナルレディスジョッキーズシリーズ）が行われた。

現在、JRAで行われているワールドオールスタージョッキーズは土日の2日間だが、IQJSは3～4競馬場（年によって異なる）でそれぞれ2日間ずつ、10日間以上の日程で行われていた。

招待騎手は第1回こそ2カ国（4名）だ

ったが、93年の第5回にはアメリカ2名、イギリス、フランス、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド各1名の計7名が招待された。

時はまさにバブル景気。91年には地方競馬全体で史上最高の9862億円余りを売上げた。そんな時期だからこそ実現した企画だったと思われる。

全5回に出場した吉岡牧子さんにうかがったところ、期間中は出場騎手全員が関係者と一緒に旅回り。各地の名所観光などもスケジュールに組み込まれていたという、のんびりした時代だった。

金沢競馬場が舞台となったのは93年の第5回。日本人の出場騎手は、安田歩騎手（北海道）、中島広美騎手（笠松）、吉岡牧子騎手（益田）の3名。

笠松の第1・2戦から中3日を置いて金沢に移動して行われた第3戦は、カナダのマリー・リチャーズ騎手が後方追走から徐々に位置取りを上げ、逃げ粘っていた中島騎手をゴール前でとらえての勝利。

そして第4戦を制したのが吉岡騎手。逃げていたオーストラリアのダニエル・エレット騎手を直線とらえ、2馬身差をつける快勝となった。

吉岡騎手といえば、87年に騎手デビューし、95年に引退するまでに挙げた通算350勝は、日本における当時の女性騎手最



写真●『Furlong』93年11月号より

93年IQJS金沢第4戦で勝利を挙げた吉岡牧子騎手

多勝記録（その後、愛知・宮下瞳騎手が更新）。このシリーズでも第1回から第3回まで3年連続で総合優勝を果たしていた。

「とにかくレースが激しかったのを覚えています。日本では、レース中にあまり声を出してはいけないと教えられますのですが、外国の騎手はスタートから大きな声を出したり、驚きました。交流競走がほとんどなかった時代に、いろいろな競馬場をまわられたのは貴重な経験でした」（吉岡さん）

この年、吉岡騎手は総合6位だったが、金沢競馬場でもたしかに女性騎手の第一人者としての騎乗ぶりを披露した。

斎藤 修（さいとう おさむ）

1964年、埼玉県生まれ。OddsPark競馬「斎藤修の重賞ピックアップ」で全重賞レースの予想を公開。グリーンチャンネル「地方競馬中継」解説。NAR「Web Furlong」、「週刊競馬ブック」、「優駿」などに執筆。

ピックアップ
Pickup!!
注目重賞

第14回 ばんえい十勝オッズパーク杯 5月3日(祝・日) 4歳以上 帯広200m

シーズンの最初に実施される重賞として定着しているばんえい十勝オッズパーク杯は、ばんえい競馬が帯広での単独開催となった2007年度に新設。4歳以上の前年度取得賞金上位馬で編成される。第1回から6年連続で出走したカネサブラックは、2007～09年の3連覇を含め4勝、2、3着各1回とこのレースを賑わせた。リピータ



写真●ばんえい十勝

2019年ばんえい十勝オッズパーク杯 オレノココロ

一色の強いレースで、13、14年にはキタノタイショウが、15年、16年にはオレノココロがそれぞれ連覇を達成。08～10年にはナリタボブサップが2、2、3着と馬券に貢献した。また、過去5年ではオレノココロが3勝、コウシュハウンカイが2勝と勝利を分け合っており、そのうち18年を除いた4回は2頭のワンツー決着となっている。

第44回 北斗盃 5月14日(木) 3歳 門別1600m

北海道3歳三冠の初戦として位置づけられている地方全国交流戦。かつての三冠は北斗盃→王冠賞→北海優駿という順だったが、2007年からは北斗盃→北海優駿→王冠賞の順で行われている。07年以降の13回で三冠を達成したのは2頭で、10年のクラキンコは牝馬として初の三冠を達成した。また、二冠馬となったのは6頭。そのうち3頭は北斗盃を勝利しており、17年のベンテンコゾウは岩手競馬から参戦し、北海優駿との二冠を達成してみせた。1600mで実施されるようになった15年以降、すべて単勝1番人気馬が勝利している。昨年はリンゾウチャンネルが史上5頭目となる三冠を達成。NARグランプリ2019の3歳最優秀牡馬にも表彰された。

第21回 兵庫ダービー 6月11日(木) 3歳 園田1870m



写真●兵庫県競馬組合

2019年兵庫ダービー パンローズキングス

兵庫競馬の3歳三冠は、一冠目の菊水賞（4月16日・園田1700m）、二冠目の兵庫チャンピオンシップJpn II（5月6日・園田1870m）、三冠目の兵庫ダービーと約2カ月という短期間で決着する。第1回の2000年から05年までは三冠の初戦だったが、06年のダービーウイーク創設に伴い、6月に実施時期を移行。名称も園田ダービーから兵庫ダービーに変更された。12年にはメイレディ、13年にはユメノアトサキと牝馬が連勝したが、以後6年の3着以内馬はすべて牡馬となっている。昨年は3番人気パンローズキングスが快勝。吉村智洋騎手、管理する松平幸秀調教師は騎手時代に、ともに僅差2着の経験があっただけに嬉しいダービー初制覇となった。

ばんえい競馬



場番号 帯広03#

●帯広競馬場を聖火が走る

東京オリンピックの聖火リレーが、6月14日に帯広競馬場でも実施される。2月17日現在、ばん馬が曳くそりに走者が乗るとのこと以外、具体的な内容は何も分からないが、どの馬が名誉ある大役に選出されるのか。またそりに乗り聖火を持つ走者をサポートする騎手は誰になるか興味津々である。

馬名からキンメダルがありかなと思っただが、今季限りで引退らしい。第1候補は3月21日のばんえい記念優勝馬か。当然現役最強馬である。地方競馬の連勝記録を更新したホクショウマサルも有力。帯広市特別嘱託職員で特別住民票を与えられたリッキー号も候補の1頭である。日本各地のイベント参加で子供たちを背中に乗せ、“帯広市リッキー号”の宛名だけで手紙やニンジンが届くほどで文句なしの1番人気。昨年惜しまれつつ引退はしたが、ばんえい十勝ここの一番の大イベントなら、老齢にムチ打ちはせ参じてくれるのがリッキーである。

色々考慮すると1頭に絞るのは難しい。では3頭参加はどうだろう。真中にリッ

キー号、両サイドにばんえい記念優勝馬とホクショウマサル。馬そりの上には幼稚園児と、冬季平昌オリンピックの女子団体パシュートで金メダルを獲得した高木菜那、美帆姉妹、佐藤綾乃選手が乗り、サポートする騎手は現在リーディング1位の阿部武臣、2位の鈴木恵介騎手、もう1人はリッキーとコンビでばんえい競馬の広報に長年貢献した服部義幸調教師はどうか。

ばんえい最強馬と連勝記録保持馬に、縁の下の力持ちの3頭が揃って、200メートルの走路をオリンピック聖火が走る



2月16日 黒ユリ賞 エンゼルフクヒメ

光景を想像するだけで嬉しくなる。本番が待ち遠しい。

文●小寺雄司

●ばんえい競馬重賞勝ち馬一覧 2019年12月～2020年2月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
12/1	ドリームエイジカップ(4歳以上)	200	アマンドグンシン(セン4)	長澤幸太	ばんえい・小林長吉
12/8	ばんえいオークス(3歳牝)	200	ジェイクトリア(牝3)	藤野俊一	ばんえい・平田義弘
12/29	ばんえいダービー(3歳)	200	メモロブサブ(牡3)	阿部武臣	ばんえい・坂本東一
12/30	ヤングチャンピオンシップ(2歳産駒特別選抜)	200	キョウエイリュウ(牡2)	松田道明	ばんえい・村上慎一
1/2	帯広記念(4歳以上)	200	コウシュハウンカイ(牡10)	藤本 匠	ばんえい・松井浩文
1/3	天馬賞(5歳)	200	コウシュハレガシー(牡5)	藤野俊一	ばんえい・平田義弘
2/9	ヒロインズカップ(4歳以上牝)	200	アフロディーテ(牝5)	西 謙一	ばんえい・西 弘美
2/16	黒ユリ賞(3歳牝)	200	エンゼルフクヒメ(牝3)	中山直樹	ばんえい・小林長吉

ホッカイドウ競馬

場番号 門別 06#

●新シーズン82日間の戦いスタート

令和2年度シーズンのホッカイドウ競馬は、4月15日(水)に例年通りグランシャリオナイターで開幕。11月3日(祝・火)には20回目の記念開催となるJBC競走の新設レース・JBC2歳優駿 JpnⅢが行われることになっており、門別の最大の売りである2歳競走へ、全国からの注目が益々高まることは間違いない。

その2歳馬たちだが、2月末時点の入厩数は610頭まで伸びており前年同日比で34頭も増加。一昨年との比較では



北海道2歳優駿 JpnⅢは、今年からJBC2歳優駿 JpnⅢとして新たな歴史を刻む(2019年・勝ち馬キメラヴェリテ)

なんと92頭も増えており、JBC競走新設効果はもちろん、地方で唯一の屋内調教用坂路をはじめとする施設面、それらを活用した各厩舎の強い2歳馬をつくり上げる育成力への評価が年々高まっていることを証明している。さらに今年は、現役時に国内のみならず世界にその名を轟かせたモーリスやエイシンヒカリをはじめ、ドゥラメンテ、ミッキーアイル、ホッコータルマエ、ラプリーデにリオンディーズ、ダノンシャーク、ハクサンムーン、ダノンレジェンドにアジアエクスプレスら錚々たるGI/JpnⅠ馬が新種牡馬として初年度産駒を送り出す大注目のシーズンであり、その多くがJRAに先駆け4月、5月に門別でデビューを飾ることになるはずだ。とにかく新種牡馬たちの顔ぶれは近年最高レベル。その初産駒たちの走りを早い時期に目撃できるのも門別グランシャリオナイターの

大きな楽しみと断言して良いだろう。

新年度シーズン、他に大きなトピックスといえば開催日数の増加が挙げられよう。所属頭数の増加、発売額のV字回復等を背景に開催日数が昨年より2日間増え15開催・82日間となるのだが、平成22年から10年間にわたって15開催・80日間で固定されてきただけに、新年度シーズンの開催日数増加は運営状況の著しい好転を象徴するニュース。ファンにとっても関係者にとっても非常に喜ばしい主催者の経営判断と言えそうだ。

シーズン閉幕は例年同様11月上旬で今年も5日(木)に道営記念で締め括られる。この最終週は、JBCデー3日と5日がダブル重賞開催で、3日は2歳牝馬のプロッサムカップ、最終日5日はH1格上げの道営スプリントを編成。3日にJBC2歳部門の初代王者が決まり、シーズン最終日の5日には中長距離戦線、短距離戦線の両王者が決まる。これ以上ない真のクライマックスをファンの皆さんが体感できるのは間違いない。話題満載の令和2年度シーズン、思う存分お楽しみください!

文●HDK

岩手競馬



場番号 盛岡11・水沢12#

写真●佐賀県競馬組合、岩手県競馬組合

●休催期間も騎手が躍動

岩手競馬は1月7日のレースを最後に、3月19日までは冬季休催期間。これまではファンもひと息入り、ある意味退屈な期間となっていたが、近年はその間もほぼ毎日各地の場外発売が複数場実施されており、自宅にいてもインターネットでの競馬観戦が容易。そして岩手の騎手が他地区で騎乗する期間も増え、その活躍を楽しめるようになった。1月28日の川崎競馬では山本聡哉騎手が『佐々木竹見カップジョッキーズグランプリ』を総合優勝。昨年園田で行われた『ゴールデンジョッキークップ』での村上忍騎手、全国で行われた『ヤングジョッキーズシリーズ』の岩本怜騎手に続いてのうれしいニュースになった。期間限定騎乗では高



関本騎手はレディスヴィクトリーラウンドにも出場(一番右)

松亮騎手が高知の準重賞・長浜特別を同着優勝。岩手競馬のシーズンで2勝だった関本玲花騎手は笠松、名古屋で一挙に5勝。それぞれが結果を出して岩手に帰ってきた。

●新シーズンの見どころは

新年度の岩手競馬で目についたのは重賞・OROオータムティアラ(10月25日)の新設。従来の留守杯日高賞、ひまわり賞と並び3歳牝馬三冠体系が整備された。3歳(牡馬)三冠路線はダイヤモンドカップ、東北優駿、不來方賞の順番に変更。看板レースのマイルチャンピオンシップ南部杯JpnIとダービーグランプリは賞金が増額されている。

OROパーク開場から名物であった芝



12月31日 桐花賞 ヤマショウブラック

コースは、今年大規模な改修が行われる。そのため春の盛岡開催では芝レースが行われず、コースの使用は7月以降。例年春に行われている、はまなす賞、サファイア賞、かきつばた賞といった準重賞競走が今年に限り休止される点にはご注意ください。

文●深田桂一(ケイシュウニュース)

●岩手競馬重賞勝ち馬一覧 2019年12月～2020年2月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
	北上川大賞典(3歳以上)	水沢2500	取止め		
12/9	寒菊賞(2歳)	水沢1600	グランコージー(牡2)	鈴木 祐	岩手・櫻田康二
12/16	白嶺賞(3歳以上)	水沢1600	エンパイアベガス(牡6)	坂口裕一	岩手・佐藤祐司
12/31	桐花賞(3歳以上)	水沢2000	ヤマショウブラック(牡3)	高松 亮	岩手・小林俊彦
1/2	金杯(3歳)	水沢1600	シンボ(牡3)	高松 亮	岩手・齋藤雄一
1/6	トウケイニセイ記念(4歳以上)	水沢1600	センチグレード(牡9)	山本聡哉	岩手・千葉幸喜

金沢競馬

場番号 41#

写真●石川県競馬事業局

●改修後の馬場傾向を探る

昨冬に大幅な馬場改修工事が行われた金沢競馬場だが、確かに逃げた馬がそのまま押し切ってしまうケースは少なくなっているように見える。騎手からは「差しが届くようになった」という声もあるが、実際はどうなったのか。改修前の2018年度と改修後の2019年度の地元騎手が連対した時の戦法を『逃げ』『先行』『差し』『追込』の4つに分けて割合を比較し検証してみた。

まずは『逃げ』は2018年度は36.5%だったが、2019年度は20.8%と1割5分以上も低下した。内ラチ沿いを掘って



12月8日 中日杯 ティモシーブルー

傾斜をつけたことで砂が多く入って深くなっており、スピードだけでなくパワーがなくては簡単には押し切れなくなっている。

代わって大幅に連対率が増加したのは『先行』で、2018年度は29.9%だったが、2019年度は43.0%と全体の4割以上。特に2、3番手から伸びてくる『好位差し』で勝ち星を挙げる馬が多かった。全国の地方競馬の傾向から見れば当然の結果で、ようやく通常の馬場状態に戻ったと言える。

思ったほどの変化がなかったのは『差し』と『追込』。『差し』は2018年度は30.4%で、2019年度は32.9%。『追込』は2018年度は3.2%で、2019年度は3.3%とどちらも微増しただけでほぼ変わらなかった。馬場改修直後の開幕した頃は、騎手たちもこれまでとは違うペースのレースに戸惑いも見せていたこともあって差し馬の台頭が目立っていたが、



ゴールデンウィークを過ぎる頃にはすっかり先行ペースをつかんでしまいレース内容が落ち着いた。持ち時計がない差し馬にとって厳しくなっていた。

以前よりも天候により馬場状態が変わりやすくなったのも確かだ。大雨が多かった台風の時期は水が浮くような馬場になると、非力な牝馬でもスピードで押し切ってしまうケースもあった。また馬場が濡りやすい寒い時期には内、外の差が少なくなり、直線内を突いた差し馬が伸びてくるシーンが度々見られた。

文●中部地方競馬記者クラブ

●金沢競馬重賞勝ち馬一覧 2019年12月～2020年2月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
12/8	中日杯(3歳以上)	2000	ティモシーブルー(牡5)	畑中信司	金沢・金田一昌

写真●岐阜県地方競馬組合

笠松競馬



場番号 42#

●底知れないニュータウンガール

東海冬シーズンの話題を独占したと言っ
て過言ではないだろうニュータウンガ
ールは、昨年夏、北海道から移籍した好素
材。“笠松の第一人者”佐藤友則騎手が、
調教でまたがった時から「ダービーを狙
える馬」とほれ込む、飛び切りのセンス
馬だ。

その序章は、2歳女王決定戦・ライデ
ンリーダー記念だった。偉大なる先輩の
偉業をたたえて創設された舞台で、大き
な可能性、将来性を高らかにアピール。
あっさりレースレコードを塗り替える好
時計をマークし、完勝劇で飾ってみせ
た。好位3番手を難なくキープし、折り



12月30日 ライデンリーダー記念 ニュータウンガール

合いもピタリとついて流れに乗った。そ
して3コーナー過ぎ、あふれる好手ごた
えで先頭に躍り出て直線に入ると、再加
速。一気にゴールを駆け抜けた。

「夏負けが長かったし、毛づやとかまだ
全然よくない。そんな中での速い勝ち時
計でのパフォーマンス。まだまだ今後、
よくなりますよ」。レース後、井上孝彦
調教師が予言した通り、その後の重賞戦
線でニュータウンガールは明確な答えを
出し続けている。

初輸送、初距離、初コースを難なく克
服してみせたのが、北陸・東海・近畿地
区交流の1月・梅桜賞(名古屋)。そし
て地方全国交流の2月・スプリングカ
ップ(名古屋)も直線鮮やかに抜け出
して、重賞3連勝を事もなげに成し遂
げた。「ま



2月6日 ウィンター争覇 キタノナシラ

だ、すごくいい状態じゃないのに反応、
手ごたえが抜群。どんな競馬でもでき
る馬です」。佐藤騎手の認識はもはや『
ダービーを意識する馬』へと変わってき
ている。このままニュータウンガールが、
世代頂点・東海ダービーまで順調に歩
みを進めるか。東海春シーズンの一
番のトピックである。

文●中部地方競馬記者クラブ

●笠松競馬重賞勝ち馬一覧 2019年12月～2020年2月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
12/30	ライデンリーダー記念(2歳牝)	1600	ニュータウンガール(牝2)	向山 牧	笠松・井上孝彦
12/31	東海ゴールドカップ(3歳以上)	1900	ニューホープ(牡3)	丸野勝虎	笠松・田口輝彦
1/9	白銀争覇(4歳以上)	1400	エイシンエンジョイ(牡5)	鴨宮祥行	兵庫・橋本忠明
1/23	ゴールドジュニア(3歳)	1600	ガミラスジャクソン(牡3)	鴨宮祥行	兵庫・長南和宏
2/6	ウィンター争覇(4歳以上)	1800	キタノナシラ(セン5)	大畑雅章	笠松・森山英雄

名古屋競馬

場番号 43#

●王者居ぬ間にニューヒーロー誕生

度重なる脚部不安で王者カツゲキキ
ットが、戦列から長期離脱(19年9月、
金沢・イヌワシ賞3着以降)を余儀なく
されたとあって、冬の古馬戦線は、常
に混戦模様だった。そんななか新た
にスターへ名乗りを上げたのが、新
興勢力のアドマイヤムテキだ。中央
1勝クラスから昨秋、名古屋のビ
ッグブランド・角田輝也厩舎に転
入した好素材は、わずか5戦でSP1
を制し頂点へ上り詰めた。

10月のA級5組を名刺代わりの
圧勝でリスタートに成功すると、準
オープンで2連勝。全国の強豪ぞろ
いの11月・笠松グランプリこそ、
ケイマのスピードに振



1月4日 名古屋記念 アドマイヤムテキ

り切られて銀メダルに終わったが、
古馬トップクラスが集った2020
年の走り始め・名古屋記念で、念
願のタイトルウイナーへ仲間入り
を果たした。

ゴールドリングが軽快なピッチで逃
げ脚を飛ばし、セーフティーリード
を保って4コーナーを回った。しか
し中団から外々を通して追い上げ、
名手・岡部誠騎手に導かれ、計った
ようにゴールできっちり捕らえて
みせた。わずかアタマ差だったが、
鋭いキレと高い勝負根性がキラ
リ光る、初戴冠でもあった。「前
(先行馬)が有利な馬場でしたし、
4コーナーでも差があって、2着
かなとも思いましたが交わしてく
れた。まだ硬いところもあって調
整が難しいですが、春になって



1月16日 マイル争覇 サムライドライブ

よくなれば、もっとタイトルを狙
えますよ」。絶対リーディング岡
部騎手が高く評価するスプリンター
だ。

2月末現在、アドマイヤムテキは
調整&休養でひと息入れているが、
ニューヒーローが、春シーズンも
きっとタイトル戦線をにぎわすこ
とだろう。

文●中部地方競馬記者クラブ

●名古屋競馬重賞勝ち馬一覧 2019年12月～2020年2月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
12/19	名古屋グランプリJpnII(3歳以上)	2500	デルマルーヴル(牡3)	岡部 誠	JRA・戸田博文
1/1	新春ベガサスカップ(3歳)	1600	エムエスオープン(牝3)	丸野勝虎	名古屋・竹下直人
1/4	名古屋記念(3歳以上)	1400	アドマイヤムテキ(牡7)	岡部 誠	名古屋・角田輝也
1/16	マイル争覇(3歳以上)	1600	サムライドライブ(牝5)	岡部 誠	名古屋・角田輝也
1/28	梅桜賞(3歳牝)	1800	ニュータウンガール(牝3)	佐藤友則	笠松・井上孝彦
2/13	梅見月杯(4歳以上)	1900	ポルタディソーニ(牝6)	宮下 瞳	名古屋・瀬戸口悟
2/24	スプリングカップ(3歳)	1800	ニュータウンガール(牝3)	佐藤友則	笠松・井上孝彦

兵庫競馬



場番号 園田51・姫路52#

写真●兵庫県競馬組合

●2強が争う中長距離路線

昨年12月の園田金盃(1870メートル)、久々の姫路開催で行われた今年1月末の白鷺賞(2000メートル)は、ともに1着タガノゴールド、2着エイシンニシパという結果。中長距離路線をリードする2頭だ。

園田金盃で、エイシンニシパは逃げたマイタイザンの2番手につけ、タガノゴールドは中団を追走。岡部誠騎手のコンドルダンスが向正面からスパートしてレースは動いた。直線は同馬と4コーナー手前で先頭に立ったエイシンニシパの争いと思われたが、タガノゴールドがゴ



1月30日 白鷺賞 タガノゴールド

ル前で強襲し、アツと言う間に2頭を飲み込んで重賞6勝目を挙げた。続く正月の新春賞(1870メートル)はタガノゴールドが不在でエイシンニシパが楽勝した。

7年半ぶりの開催となった姫路競馬での白鷺賞にはマイタイザンが不在。ハナを狙ったエイシンニシパだが、外枠からスタートを決めた名古屋のモズオラクルが譲らなかった。タガノゴールドが2番手で、今度は早め勝負に出たエイシンニシパが3コーナーから内々を進出し、4コーナーで先頭へ。だが、直線中ほどでこれをとらえたタガノゴールドが楽々と

3馬身半抜け出した。

5月5日の兵庫大賞典(1870メートル)、6月4日の六甲盃(2400メートル)と春の園田でも両馬の争いは続く。

なお、今年のそのだ金曜ナイターは、5月15日から10月30日まで毎週開催。重賞は7月24日の兵庫サマーQueen賞(1700メートル)、8月14日の摂津盃(1700メートル)、9月11日の園田チャレンジカップ(1400メートル)、10月9日の兵庫ゴールドカップ(1230メートル)、10月30日の兵庫Queenカップ(1700メートル)の5レースがナイターで行われる。

文●池永博省(大阪日刊スポーツ)

●兵庫競馬重賞勝ち馬一覧 2019年12月～2020年2月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
12/5	園田金盃(3歳以上)	園田 1870	タガノゴールド(牡8)	下原 理	兵庫・新子雅司
12/27	兵庫ゴールドトロフィー JpnⅢ(3歳以上)	園田 1400	デュープロセス(牡3)	北村友一	JRA・安田隆行
12/31	園田ジュニアカップ(2歳)	園田 1700	イチライジン(牡2)	吉村智洋	兵庫・田中範雄
1/3	新春賞(4歳以上)	園田 1870	エイシンニシパ(牡7)	吉村智洋	兵庫・橋本忠明
1/9	園田Queenセレクション(3歳牝)	園田 1400	ステラモナーク(牝3)	下原 理	兵庫・新子雅司
1/30	白鷺賞(4歳以上)	姫路 2000	タガノゴールド(牡9)	下原 理	兵庫・新子雅司
2/19	園田ユースカップ(3歳)	園田 1400	ステラモナーク(牝3)	下原 理	兵庫・新子雅司
2/20	園田ウインターカップ(4歳以上)	園田 1400	ナチュラリー(牡6)	笹田知宏	兵庫・新子雅司

高知競馬

場番号 55#

写真●高知県競馬組合

●偉業に溢れた大高坂賞!

年が明けると高知競馬は黒船賞JpnⅢシーズンへと突入する。地元馬は3つある選考競走で出走権を争うわけだが、1月19日、その第1弾である第9回大高坂賞(1400メートル)は偉業に溢れた一戦となった。勝ったサクラレグナムは昨年に続く連覇、管理する田中守調教師は5勝目、鞍上の赤岡修次騎手は何と6連覇。決して楽なメンバー構成ではなかったが、好位抜け出しの盤石の取り口で強さを誇示した。まだまだ進化する11歳馬、見事の一語である。

●今年も地元勢!

2月2日に行われた選考競走第2弾・第17回黒潮スプリンターズカップ(1300



1月19日 大高坂賞 サクラレグナム

メートル)は地方全国交流戦だが、過去、一度も遠征馬の優勝はなし。今年は8頭が遠征してきたが、やはり地元勢が上位を独占した。中でも存在感を示したのが勝ったスペルマロン、2着ウォーターマーズ。大高坂賞ではサクラレグナムの後塵を拝したが、同馬不在もあり、3着以下に決定的な差をつけての追い比べを展開した。大晦日の高知県知事賞(2400メートル)でもワンツー決着を果たしている両馬。高知県知事賞がクビ差、今回がアタマ差と、大きく異なるカテゴリーでの大接戦はいずれも見応え十分だった。両馬は次走のだるま夕日賞でも名勝負を繰り広げることになる。

●リベンジ成功!

2月16日、黒船賞JpnⅢの最終切符をかけた第7回だるま夕日賞(1600メ



2月16日 だるま夕日賞 ウォーターマーズ

ル)が行われた。戦前はサクラレグナム、スペルマロン、ウォーターマーズの人気順だったが、結果はウォーターマーズの勝利。サクラレグナム、スペルマロンの出遅れはあったが、得意のマイル戦で真価発揮。サクラレグナムを競り落とし、今回はスペルマロンをアタマ差封じリベンジ達成となった。今年の選考競走は3頭が分け合うかたちで決着。今後、どのようなライバル関係が続いていくか楽しみである。

文●風間恒一(中島高級競馬場)

●高知競馬重賞勝ち馬一覧 2019年12月～2020年2月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
12/28	金の鞍賞(2歳)	1400	レイズパワー(牝2)	倉兼育康	高知・細川忠義
12/31	高知県知事賞(3歳以上)	2400	スペルマロン(セン5)	倉兼育康	高知・別府真司
1/19	大高坂賞(4歳以上)	1400	サクラレグナム(牡11)	赤岡修次	高知・田中 守
2/2	黒潮スプリンターズカップ(4歳以上)	1300	スペルマロン(セン6)	倉兼育康	高知・別府真司
2/16	だるま夕日賞(4歳以上)	1600	ウォーターマーズ(セン6)	西川敏弘	高知・大関吉明

佐賀競馬



場番号 61#

●短距離路線に大物参入

ウインターチャンピオンは、昨年7月の転入初戦から5連勝中だったドラゴンゲートが、スタートから先頭に立つと、終始楽な手応えでカクリョウに2馬身差をつけ勝利。11月の佐賀オータムスプリントに続いて重賞2勝目を挙げた。創設2年目となる秋冬の短距離重賞とともに制覇し、短距離路線の頂点に立ったが、「JRAにいた時に2度骨折をしているので、負担のかかる遠征は考えていない」（三小田幸人調教師）とのこと。春も地元戦に専念しつつ、夏の短距離重賞路線を目標としている。

ところで昨年8月の転入後に3連勝し、その後はJRAへ復帰したコウエイエン



1月26日 ウインターチャンピオン ドラゴンゲート

プレムが、JRAでは1戦のみで登録を抹消。佐賀へ再転入してきた。こちらも短距離を使われてきただけに、ドラゴンゲートとの直接対決に大きな注目が集まりそうだ。

グレイトパールは中島記念ではB級から挑戦してきたウノピアットブリオに6馬身差をつけられての2着となり、地方移籍後初めて佐賀所属馬に先着された。続く佐賀記念JpnⅢでも、昨年の4着から今年は6着に後退と冬の2戦はやや不本意な結果となったが、昨年同様に佐賀記念JpnⅢでの地方最先着は確保。交流競走ではやはりこの馬が佐賀の大將格の座を不動のものとしている。

●岩永騎手、地元ラウンドを制す

岩永千明騎手は、荒尾所属時から歴代の女性騎手招待シリーズに参戦していた



LVR佐賀第1戦(2月22日)は岩永騎手が勝利

が、約3年3カ月に及ぶ長期療養中に創設された現行のレディスヴィクトリーラウンドには今年が初参戦。地元開催となる佐賀ラウンドでは第1戦を勝利。第2戦も4着にまとめ、ラウンド優勝を果たした。「レディスは自分の中では特別なレース。佐賀ラウンドで勝てたのは本当によかった。ファンの人の声がすごい力になりました」と、感慨深げに振り返っていた。

文●上妻輝行

●佐賀競馬重賞勝ち馬一覧 2019年12月～2020年2月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
12/22	中島記念(3歳以上)	1800	ウノピアットブリオ(セン5)	山口 勲	佐賀・手島勝利
1/19	花吹雪賞(3歳牝)	1800	ミスカゴシマ(牝3)	石川慎将	佐賀・平山宏秀
1/26	ウインターチャンピオン(3歳以上)	1400	ドラゴンゲート(牡8)	田中 純	佐賀・三小田幸人
2/11	佐賀記念JpnⅢ(4歳以上)	2000	ナムラカメタロー(牡4)	石川裕紀人	JRA・稲垣幸雄
2/27	たんぼぼ賞(3歳九州産)	1400	トキノゾミ(牝3)	酒井 忍	川崎・八木正喜

競馬場別
騎手リーディング Top3

2019年1月1日～12月31日

ばんえい競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	阿部武臣	1,102	193	163	148	17.5	32.3	52,276,500
2	鈴木恵介	1,015	192	130	100	18.9	31.7	50,650,000
3	西 謙一	1,102	151	146	140	13.7	27.0	41,421,000

ホッカイドウ競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	石川 倭	704	120	107	100	17.0	32.2	108,016,500
2	桑村真明	536	86	66	70	16.0	28.4	77,436,500
3	服部茂史	524	84	69	83	16.0	29.2	99,070,000

岩手競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	村上 忍	738	157	111	107	21.3	36.3	95,254,000
2	山本聡哉	725	149	123	112	20.6	37.5	99,875,000
3	山本政聡	758	139	115	93	18.3	33.5	84,499,000

金沢競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	藤田弘治	631	111	112	96	17.6	35.3	61,025,000
2	青柳正義	666	110	85	79	16.5	29.3	60,332,000
3	米倉 知	314	97	54	40	30.9	48.1	50,702,000

笠松競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	筒井勇介	655	124	83	87	18.9	31.6	46,526,500
2	渡邊竜也	619	93	74	85	15.0	27.0	40,797,000
3	佐藤友則	362	90	71	41	24.9	44.5	43,738,000

名古屋競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	岡部 誠	663	187	134	74	28.2	48.4	129,545,000
2	村上弘樹	805	121	124	98	15.0	30.4	78,349,000
3	大畑雅章	842	113	92	88	13.4	24.3	68,081,500

兵庫競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	吉村智洋	1,203	330	207	151	27.4	44.6	298,898,000
2	田中 学	1,182	254	208	185	21.5	39.1	240,617,000
3	下原 理	1,153	238	169	150	20.6	35.3	246,429,000

高知競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	永森大智	723	195	147	100	27.0	47.3	127,699,000
2	赤岡修次	591	167	118	83	28.3	48.2	117,791,000
3	宮川 実	605	132	92	88	21.8	37.0	85,834,000

佐賀競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	山口 勲	767	249	146	104	32.5	51.5	135,760,500
2	鮫島克也	576	103	92	76	17.9	33.9	74,283,000
3	倉富隆一郎	699	100	77	72	14.3	25.3	43,154,000

ジョッキーズインデビュー

取材・文●浅野靖典

中島龍也騎手は2020年でデビューから7年目。1年目に42勝を挙げ、その後も着実に勝ち星を増やしている。

デビュー前はこれほど勝てるとは思っていませんでしたが、勝ち星が増えるともっと勝ちたいという意欲が出てきました。その反面、減量が取れたらどうなるかという心配はありました。当時は30勝で見習いから卒業というルール。といっても、同じ斤量にならないと本当の勝負ではない、という思いもありました。それでも減量が取れてからはしばらく勝てなかったですね。そのときにどうしたら勝てるのか、いろいろと考えました。その継続が今につながっていると思います。

中島騎手は馬の背中に張り付くほどの低い姿勢で馬を追う。その騎乗フォームは安定しているように感じられる。

そうですね？ありがとうございます(笑)。実際、格好いい姿勢で乗ることを心がけているんですよ。ただ、本命の馬に乗ったときは、勝ちを意識してしまう分、格好よく乗れないことがあるのかもという気はしていますね。といっても、能力がある馬のほうが、手応えから感じられる余裕とか、勝つための要素は身に付きますが、自分としては、最初の頃と比べて上達したなと思える部分と、まだまだだなと思える部分があります。これまで「いい競馬だったな」と思える騎乗って、数えられるほどしかないんです。

それでも2019年の石川ダービーをロンギングルックで制するなど、実績を積み重ねている。

あのダービーは勝てると思っていなかったもので、素直にうれしかったですね。それを含めてたくさん勝たせてもらっているからか、たまに「天狗になるなよ」みたいなことを言われたりするんです。でも、まだリーディングさえ取ったことがないんですから、そんなこと思うわけがないですよ。仮に金沢でかなりの成績を残したとしても、南関東はあるし、中央もあるし、世界



写真●斎藤 修

ロンギングルックとのコンビで石川ダービーを制した

もあります。そういう舞台上で活躍している吉原さんと比べてしまうとねえ……。全国レベルに行ければそう言われてもと思えますけれど、僕はまだ兵庫で1回勝っただけ。まだ全国への入口にも到達していないように思えます。

その「兵庫での1回」は、兵庫クイーンカップ。ヤマミダンスとのコンビで制した。

その前の年は5着に負けてしまいました。そのときよりも勝てるチャンスは大きいかな、とは思っていました。それでも4コーナーでは「この手ごたえなら」というくらいの余裕がありましたね。ヤマミダンスは乗るといつもいい手ごたえがあるんですが、(2019年の)中日杯では後ろから上がってきた馬に挟まれたところで走るのをやめてしまいました(結果は7着)。そういうところが常にあるタイプですね。その中日杯は、ロンギングルックとヤマミダンスのどちらに乗るか選んでいいという話になったのでヤマミダンスにしたのですが、自分としてはそういうのはちょっと苦手。最近は乗りたい馬が同じレースで重なってしまうことが多くなってきたので、そこが悩みといえば悩みです。

金沢での成績が上昇するにつれて、ほかの競馬場での騎乗依頼を受けることも増えてきた。ただ、盛岡の知床賞では北海道所属の1番人気馬で6着という、残念な結果になってしまった。

あのときは馬がほかの馬を頼ろうとして、外へ外へと行こうとしていたんです。それで大きく外を回ることになってしまった……。盛岡競馬場は馬も初めてでしたし、自分も初めて。ちょっと難しいところがありました。そういう失敗を含めて経験にはなると思うのですが、それでも何ごともなく回ってくるのが一流なんだろうなと、改めて思いました。

それでも大井の重賞で騎乗依頼があるなど、名前は確実に売れてきている。南関東では2018年に「前年に所属競馬場でリーディング5位以内の25歳以下の若手騎手」のカテゴリーで期間限定騎乗をする機会を得た(62戦3勝)。

南関東では本命が付くような馬に乗れるわけがないと思っていましたし、結果が出てくれればありがたいというくらいの気持ちでいました。だから完全にチャレンジャー。レースではいろいろと迷惑をかけてしまいましたが、厳しい競馬を経験できたのは良かったと思います。この冬も大井競馬の小林分場で調教に乗せていただいて、前回の期間限定騎乗のときと同じように、活

中島龍也 (金沢)

なかじま たつや



1996年3月12日生まれ うお座 A型

千葉県出身 加藤和義厩舎

初騎乗/2014年4月6日

地方通算成績/3,552戦444勝

服色/桐青・白縦じま、袖橙

重賞勝ち鞍/石川ダービー、兵庫クイーンカップ、中日杯、金沢シンデレラカップ、金沢ヤングチャンピオンなど8勝

※2020年2月21日現在

躍馬の背中を味わう機会もいただきました。次の目標はいろいろありますが、まずは早く通算800勝を達成して、また南関東に行きたいですね。デビュー10年目までにはもう1回と思っています。

その思いの先には吉原寛人騎手の姿がある。

吉原さんは僕の年齢のときにはもうリーディングでした。なんというか、僕とは違う世界にいる人という感覚があります。そんな吉原さんでも、コツコツと積み重ねた期間があつての現在ですからね。それでも「いつ乗る馬が少なくなるかわからない」とおっしゃっています。僕もその危機感みたいなものもありますね。それでも吉原さんが作ってくれた道は確実にありますから、僕もそこを進んでいけるように頑張っていきたいです。

そのために考えていることはあるのだろうか。

体幹をしっかりさせたいですね。そのためのトレーニングをしていますし、教養センターにいたころ今も、木馬によく乗っています。それを継続して、とくに脚力をつけたいです。幸いなことに体重はまだ大丈夫なので、上半身も含めて筋肉量を増やしたいですね。乗る馬の状態がどれだけ良くても、自分がきちんとできていないと結果が出ないことが多いですから、どの馬でも基本に忠実に乗ることができるのか、そこが重要だと思っています。そして、ひとつの目標にしている年間100勝を、2020年こそは達成させたいですね。地方競馬ジョッキーズチャンピオンシップも目指したいですし、とにかく勝ち星をひとつでも多く、そして1年に最低でもひとつは重賞を勝つ、それを続けていきたいと考えています。

トップジョッキーに コースの特徴を聞きました

金沢競馬場

取材・文●浅野靖典

2019年から馬場が一変!

2012年頃までは外枠が優勢という傾向があった金沢競馬だが、その後は内ラチ沿いを進んだ逃げ先行タイプが有利に変化。しかし2019年からはインコースを2〜3頭分またはそれ以上を各騎手は空けてレースをしている。

「2019年の開幕前、馬場のクッション砂が取り除かれていたときに路盤を見たら、内側がけっこう削られて、傾斜がついていたんです」と、藤田弘治騎手。そのためにインコースの砂が深くなっているようだ。

競馬場がある場所は干拓地で、水はけがあまり良くないとのこと。葛山晃平騎手は「雨が降ると内側のほうに水が流れていきますから、インコースは乾きにくいですね。そうなると、その場所は逆に重たくなってしまいます。そういうときは、馬場状態の発表が“重”でもインコースは“不良”。どちらにしても、外を回ったほうが良い」と感じているようだ。

となると、1400mと1500mでは枠順による有利不利がありそう。その点について米倉知騎手に聞いてみると「外枠のほうが僕も馬も楽ですね（笑）。内枠は機動力がある馬なら何とかありますが、内枠からのスタートで1コーナーあたりまで閉じ込められる形になると、そこでもうオシマイ。そういう意味でも主導権を取るの重要です。逃げた馬が外を通ると、後ろの馬はさらにその外を回って距離ロスすることになりますから」とのこと。

藤田騎手も「外枠のほうがいいですね。1700mも外枠。一昨年までは内から3頭目あたりの砂が深くて、最内が軽かったんです。だから内ラチ競馬になっていたんですよ。今はインが深かった数年前よりも、さらに外を使っている感じ」なのだそう。

また「向正面は路盤の状態があまり良くないので、そこでも外ですね」と教えてくれたのが青柳正義騎手。「向正面の内側は水たまりができてやすいので、あまり通りたくないんです。でも内枠スタートで展開がダング状態になると、主導権を取っている騎手がインコースの馬を外に出させないようにしますから、厳しくなりますね」

そういう意味でも内枠は歓迎材料ではないようだ。葛山騎手も「向正面ではなるべく外。距離をロスしてもそのほうがいいと思います」と話していた。

その点について、畑中信司騎手が興味深い話をしてくれた。「1日のなかでもレ-

スごとに馬場が変わります。そのなかには何レースか、少ないときは1レースだけ、インコースが使える馬場になることがあるんです。だから勝負どころでインを通して勝った馬が出て、その次のレースで同じところを通ったらダメだったなんてことはよくあります。それを見極めるひとつの材料が、ハロー掛けのクルマだと思えますよね。うしろに付いている竹ぼうきがどんな感じで動いているか」

これは企業秘密的な面がありそうだが、逆にインコースが使えないときの目安は栗原大河騎手が教えてくれた。「ハロー掛けのクルマが弾むように動いたときは、砂が均一になっていない証拠」なのだそう。そのときは、なるべく外を回るように心がけているとのことだ。

やっぱり外を通るべき?

「今は騎手にとってむずかしい馬場だと思いますよ」と話した高橋俊之調教師も同じように「基本的にインコースはダメなんですけど、内側に砂が軽いところがあったとき、そこをたまたま通った馬が持ち時計以上で走ることがある」と教えてくれた。ただし「その馬は反動が出ることが多いし、具合が悪くなることも多い」そうだ。

それを含めて、各騎手は頭を悩ませている様子。栗原騎手は「内はダメだという意識が頭の中にありすぎると、逆にインをすくわれて逆転されることがあるんですよ」と話し、柴田勇真騎手は「ヘタにインを狙うよりも、思い切って外側を全速で回った



写真●NAR(1991年撮影)

ほうが良いと思うんですよ」とのこと。現在の馬場にはセオリーや必勝法といえるものはないのかもしれない。

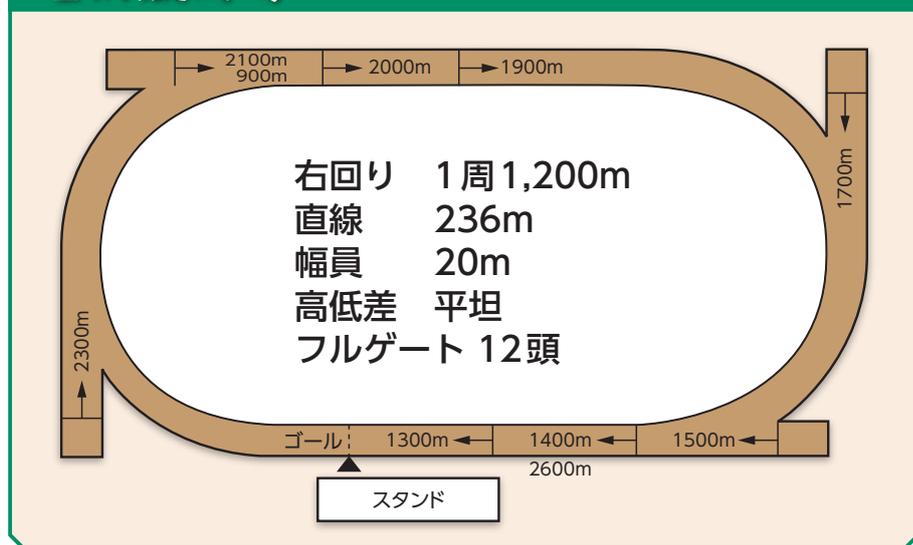
また「雨が降ると砂質が変わる感じがする」(畑中騎手)という点も難しいところ。「乾きかけの状態がいちばん危険。砂が透明のフェイスガードにベトリと付いて、前が見えなくなるんです。そういうときは馬もいやがりますし、結果も前残りになりがち」(葛山騎手)とのこと。ちなみに米倉騎手は「不良から重に変わったあたりの馬場が走りやすい」と感じているようだ。

この取材は2019年12月に実施したが、2020年もこの傾向は続きそう。取材日も「馬場のど真ん中を通ったのに、その外から差し切られるとは……」と、レース後に苦笑いした騎手がいた。ただ、それはファン目線では面白い競馬といえるかも。「毎回、運試しのような馬場ですよ」と畑中騎手が笑ったように、今シーズンも変化に富んだレースが見られることだろう。

その馬場を歓迎している騎手もいる。吉原寛人騎手は「僕は今のほうがいいですね。以前は逃げた馬が止まらない馬場でしたが、今は展開ひとつで結果が変わります。なんというか、当たり前の馬場になったように思います」と前向きに捉えていた。

最後に青柳騎手に「今の馬場を一言で」と聞くと、「以前よりも安全！」

金沢競馬場



4月→6月 注目レース 金沢競馬 データ分析

金沢競馬は、3月15日から新シーズンがスタート。春競馬では、3歳は石川ダービー、古馬にとっては百万石賞が最大の目標となる。シーズン最初の重賞が金沢ス

実施日	レース名(条件)	距離	前年の勝ち馬(所属)
4/28(火)	金沢スプリングカップ(4歳以上)	1900m	ナガラオリオン(金沢)
5/4(祝・月)	北日本新聞杯(3歳)	1700m	スターキャデラック(金沢)
5/17(日)	ノトキリシマ賞(3歳牝)	1500m	※新設
5/24(日)	利家盃(4歳以上)	2000m	※新設
6/2(火)	石川ダービー(3歳)	2000m	ロンギングルック(金沢)
6/4(日)	徽軫(ことじ)賞(3歳以上牝)	1500m	サノラブ(金沢)
6/23(火)	百万石賞(3歳以上)	2100m	ティモシーブルー(金沢)

リングカップというのは昨年までと同様だが、百万石賞までの間に、トライアルの利家盃が新設されたことで古馬路線はさらに充実。また3歳は、北日本新聞杯、石川ダービーという二冠は変わらないものの、牝馬によるノトキリシマ賞(金沢デビュー馬

限定)が増えたことで、夏に加賀友禅賞とあわせ牝馬路線が構築された。なお古馬牝馬では昨年からの徽軫(ことじ)賞が実施されている。ここでは、北日本新聞杯、百万石賞の2010年以降、過去10回の結果から傾向を探っていく。

5/4 北日本新聞杯

●人気馬が強い一冠目

- ◇1番人気は7勝を挙げ、4連勝中だが、2、3着はなし。1着はすべて3番人気以内で軸は堅め。その他、4番人気は2着4回、3着1回となっており、10回中5回は3連単が4ケタ配当。
- ◇3着以内馬の数では牡馬(セン馬含む)19頭(6勝)、牝馬11頭(4勝)と牝馬の健闘が目立つ。なお過去5回では、メ

ンバー中でもっとも勝利数が多かった馬が2勝、2、3着各1回の好成績。勝利した17年ヤマミダンス、18年ノブイチはともに6勝を挙げていた。

- ◇金沢競馬では近年、準重賞の新設も相次いでおり、若駒賞(17年新設)の1～3着馬は、18年1着ノブイチが1着、19年1着ロンギングルックが3着など相性がいい。また近走で他地区の重賞を使われていた馬も好成績。17年1着ヤマミダンス(大井・東京2歳優駿牝馬15着)

など南関東重賞は出走しているだけで買。19年2着ニューホープ(笠松・新緑賞2着)など南関東以外は5着以内が目安になる。

- ◇騎手では、青柳正義が3勝、藤田弘治、米倉知が各2勝。吉原寛人は1勝、2着2回、3着1回だが、14年以降は6回連続で1～2番人気ながら1勝、3着1回とひと息。なお中島龍也が4回騎乗し、2、2、3着と3年続けて馬券絡み。堀場裕充も8回騎乗し2着に3回入っている。

	枠番	馬番	馬名(所属)	性別	年齢	重量	騎手	調教師	タイム・着差	人気	通過	前走	2走前
19.5.5 金沢1700m 晴・良 11頭	8	12	スターキャデラック(金沢)	牡	3	56	吉原寛	加藤義	1.52.1	1	3-3-1-1	3歳A級1組①	※2月まで南関東在籍
	1	1	ニューホープ(金沢)	牡	3	56	畑中信	中川雅	1/2	4	8-7-5-4	3歳A級1組②	笠松・新緑賞②
	4	4	ロンギングルック(金沢)	牝	3	54	中島龍	金田一	1 1/2	2	3-4-4-2	3歳A級1組①	若駒賞①
18.4.29 金沢1700m 晴・良 11頭	3	3	ノブイチ(金沢)	牡	3	56	藤田弘	鈴木長	1.52.5	1	2-2-1-1	2走前(若駒賞①)	3走前(名古・スプリングC⑤)
	1	1	エムザックヒーロー(金沢)	牡	3	56	中島龍	加藤義	大差	6	4-4-4-3	3歳A級3組②	3歳A級3組⑧
	7	9	マナレア(金沢)	牝	3	54	栗原大	金田一	3/4	3	6-6-5-4	ノトキリシマ賞②	3走前(若駒賞③)
17.5.21 金沢1700m 晴・良 12頭	5	6	ヤマミダンス(金沢)	牝	3	54	青柳正	中川雅	1.52.2	1	1-1-1-1	名古・東海クイーンC⑨	名古・梅桜賞①
	2	2	サッカーヘラクレス(金沢)	牡	3	56	中島龍	加藤義	5	7	9-9-8-5	3歳A級1組③	3走前(若駒賞④)
	3	3	ゴールドハリアー(金沢)	牝	3	54	桑野等	黒木豊	1/2	12	7-7-5-4	3歳A級1組⑥	ノトキリシマ賞⑤

6/23 百万石賞

●3厩舎の馬でほぼ決着

- ◇1、2番人気は20頭中15頭が連対、過去10回のうち6回が1、2番人気での決着となっている。2010～16年の間に5勝したジャングルスマイル(9歳で勝った16年のみ6番人気で、その他は1～2番人気)、1番人気で13、14年と連覇したナムラダイキチと、一時代を築いた馬が人気にこたえた10～15年は、3連単が3～4ケタ配当に収まる堅い決着が多かった。しかしそれ以降は、16年

の17万9170円を最高に5桁以上の配当が3回。近年は波乱傾向がある。

- ◇5歳が、3勝、2着1回、3着4回の好成績。なお9歳が出走10頭で1、2、3着各1回、10歳が同7頭で1勝、2着2回と、ともに少ない出走頭数でも健闘。スタミナが必要な長距離だけに、高齢馬でも軽視できない。18年は1着が8歳のマイネルリポーンで9歳のトニーポケットが3着、19年は10歳のナガラオリオンが2着に入っている。
- ◇金沢スプリングカップが取止めとなった13年(当時はスプリングカップ)を除

き、その年の金沢スプリングカップ1着馬は2着6回、3着2回(着外1回)。同2着馬も3勝、3着2回と、出走してくれば堅実な成績。今年は、新設のトライアル・利家盃の結果にも注目したい。

- ◇調教師では金田一昌が6勝、2着4回、3着1回(着外9回)の好成績。ジャングルスマイルの活躍が大きい、同馬引退後の17年以降も毎年1頭以上連対。なお距離が2100mになった16年以降の過去4回で3着以内に入った12頭中11頭を金田一昌、佐藤茂、高橋俊之の3人の調教師が占めている。

	枠番	馬番	馬名(所属)	性別	年齢	重量	騎手	調教師	タイム・着差	人気	通過	前走	2走前
19.6.23 金沢2100m 曇・稍重 12頭	2	2	ティモシーブルー(金沢)	牡	5	57	畑中信	金田一	2.17.8	2	8-7-3-2	A1級一組①	3走前(スプリング特別③)
	3	3	ナガラオリオン(金沢)	牡	10	57	中島龍	金田一	1/2	1	4-4-1-1	金沢スプリングC①	A1級二組①
	8	12	ミスアンナ(金沢)	牝	5	55	堀場裕	中川雅	4	6	5-5-6-3	徽軫賞④	A1級二組①
18.6.17 金沢2100m 晴・良 12頭	2	2	マイネルリポーン(金沢)	牡	8	57	青柳正	高橋俊	2.17.6	4	8-7-5-3	A1級一組②	金沢スプリングC⑥
	8	12	ムーンファースト(金沢)	牡	4	57	吉原寛	金田一	3/4	2	3-2-1-1	金沢スプリングC①	A1級一組⑤
	7	9	トニーポケット(金沢)	牡	9	57	吉田晃	佐藤茂	3	7	10-9-6-6	A1級二組④	金沢スプリングC②
17.6.11 金沢2100m 晴・良 12頭	5	6	トウショウプライド(金沢)	牡	7	57	葛山晃	佐藤茂	2.20.2	6	4-4-2-2	A1級一組④	金沢スプリングC②
	2	2	メイジン(金沢)	牡	6	57	平瀬城	金田一	1	2	1-1-1-1	A1級一組①	金沢スプリングC①
	8	11	トニーポケット(金沢)	牡	8	57	藤田弘	佐藤茂	2 1/2	7	7-7-5-3	A1級一組③	A1級一組③

金沢競馬場

サイヤーランキング

取得賞金 & 勝利数

2017年1月1日～2019年12月31日

取得賞金ランキング

勝利数ランキング

■総合(1882レース)

種牡馬名	取得賞金(千円)	1着	出走回数	出走頭数	活躍馬(取得賞金順)
ゼンノロブロイ	60,023	35	211	16	グリム
サウスヴィグラス	32,111	40	235	23	サノラブ
シンボリクリスエス	30,505	38	239	14	ティモシーブルー
パイロ	28,139	28	265	19	アルファーティハ
ジャングルポケット	27,267	41	438	27	エイシクウカイ
ゴールドアリュール	26,890	37	287	29	タガノゴールド
ネオユニヴァース	26,453	43	377	25	モズオトコマエ
アドマイヤマックス	23,110	21	108	11	ナガラオリオン
ハーツクライ	22,629	29	269	23	ヤマミダンス
エンパイアメーカー	22,211	38	219	17	フジノナデシコ

■1400m(823レース)

ジャングルポケット	12,384	21	185	26	エクメディアリオン
ネオユニヴァース	8,327	20	147	20	ノーブルステップ
メイショウボーラー	7,940	18	153	22	ミリオンピエール

■1500m(899レース)

サウスヴィグラス	19,387	23	118	19	サノラブ
エンパイアメーカー	12,113	23	120	16	ヒストリーメイカー
クロフネ	11,314	21	182	25	トーホウポニータ

■1700m(84レース)

アドマイヤマックス	4,306	3	20	5	スターキャデラック
タイムパラドックス	3,980	4	20	5	ミスアンナ
パイロ	3,905	2	16	10	ノイチ

■1900メートル(32レース)+2000m(4レース)+2100m(2レース)

ゼンノロブロイ	43,120	2	10	2	グリム
シンボリクリスエス	14,826	4	9	2	ティモシーブルー
パイロ	13,274	2	13	5	アルファーティハ

※900m、1300mはレース数が少ないため割愛した

種牡馬名	1着	2着	出走回数	出走頭数	勝馬頭数	活躍馬(勝利数順)
ネオユニヴァース	43	42	377	25	19	ノーブルステップ
ジャングルポケット	41	40	438	27	19	エイシクウカイ
サウスヴィグラス	40	23	235	23	13	サノラブ
シンボリクリスエス	38	38	239	14	12	アザミジョウ
エンパイアメーカー	38	26	219	17	11	ヒストリーメイカー
ゴールドアリュール	37	36	287	29	18	コンゼイ
クロフネ	37	34	352	26	18	レヴェナント
ゼンノロブロイ	35	30	211	16	10	オーミティグリス
メイショウボーラー	31	36	323	29	12	サノヒカリ
マツリダゴッホ	31	25	310	21	13	ベルウッドデナリ

ジャングルポケット	21	15	185	26	15	エイシクウカイ
ネオユニヴァース	20	17	147	20	11	ノーブルステップ
メイショウボーラー	18	16	153	22	10	サノヒカリ

エンパイアメーカー	23	14	120	16	10	ヒストリーメイカー
サウスヴィグラス	23	13	118	19	8	サノラブ
クロフネ	21	14	182	25	15	レヴェナント

タイムパラドックス	4	5	20	5	3	ミスアンナ
サウスヴィグラス	4	3	27	8	2	サノイチ
ゼンノロブロイ	4	3	19	5	2	フェイマスラブ

ハーツクライ	4	3	21	6	1	ヤマミダンス
エンパイアメーカー	4	1	13	5	2	フジノナデシコ
シンボリクリスエス	4	1	9	2	1	ティモシーブルー

重賞勝ち馬の血統を読む

文●平出貴昭(サラブレッド血統センター)

中日杯
ティモシーブルー

2014年2月21日生まれ 牡 鹿毛 金沢・金田一昌既合生産・信成牧場(浦河郡浦河町)

シンボリクリスエス(USA) 黒鹿毛1999	Kris S. 黒鹿毛1977	Roberto Sharp Queen
	Tee Kay 黒鹿毛1991	Gold Meridian Tri Argo
トゥルーゴールド 栗毛2007	フレンチデビュティ(USA) 栗毛1992	Deputy Minister Mitterand
	キャッチザゴールド 鹿毛2000	サンデーサイレンス(USA) ゴールドデンサッシュ

5歳を迎えた昨年、JRAから金沢に移籍し、移籍5戦目の百万石賞で重賞初制覇を果たしたティモシーブルー。暮れの中日杯ではグルームアイランドに5馬身差をつけ圧勝している。

父シンボリクリスエスは2002、03年のJRA年度代表馬で、天皇賞・秋と有馬記念を連覇。ラストランとなった有馬記念はコースレコードで9馬身差の圧勝と、強烈なインパクトを残した。

現役引退後も種牡馬として成功。JRAサイヤーランキングは最高3位にランクし、ベスト4には6度ランクイン。エピファネイア(ジャパンC、菊花賞)、ストロングリターン(安田記念)、ルヴァンスレーヴ

(チャンピオンズC)、アルフレード(朝日杯フューチュリティS)、サクセスブロッケン(フェブラリーS)と5頭のGI馬を送った。20歳を迎えた2019年も41頭に種付けしたが、同年を最後に種牡馬を引退。現在は千葉のシンボリ牧場で余生を送っているが、今年に入って、コレティアがきさらぎ賞を勝利しており、健在ぶりをアピールしている。

後継種牡馬は6頭おり、ストロングリターンはききょうSのプリンスリターンなど2歳戦の活躍馬を多く出している。昨年はエピファネイアの初年度産駒がデビュー。年が明け、京成杯2着のスカイグルーヴ、エルフィンSのデアリングタクトと、クラシック戦線を沸かせそうな素質馬が出ており、偉大な父の血を継いでいきそうだ。

ティモシーブルーの牝系を見ていこう。兄ゴールドエフォート(父カンパニー)はJRA1勝、高知1勝。母トゥルーゴールドはJRAと笠松で9戦0勝、祖母キャッチザゴールドはJRAで淡路特別(1000万下、芝2500m)など4勝と、やや地味な牝系に見えるが、このキャッチザゴールドの6歳上の全兄が、香港ヴァーズなどを勝った名馬で、オルフェーヴルやゴールドシップの父となった名種牡馬ステイゴールドだ。



写真●石川県競馬事業局

中日杯で重賞2勝目としたティモシーブルー

この牝系からはステイゴールド以外にも多くの活躍馬が出ている。ステイゴールドの母の兄にあたるサッカーボーイは1988年の函館記念で芝2000mの当時の日本レコード1分57秒8を叩き出し、マイルチャンピオンシップを4馬身差で快勝した。その他、ティモシーブルーの5代母ロイヤルサッシュの一族からは、スプリンターズSのスノードラゴン、ジャパンC、秋華賞のショウナンパンドラというGI馬、バランスオブゲーム、ドリームパスポート、最近ではダイアナヘイロー、フロンティア、ケイデンスコールなどの重賞勝ち馬が出ている。

父の成績もさることながら、近親ステイゴールド産駒からもドリームジャーニー、オルフェーヴル、ゴールドシップと3頭の勝ち馬が出ていることから、有馬記念をイメージしてしまうティモシーブルーの血統。有馬記念とまではいなくても、この牝系特有の成長力を発揮し、息の長い活躍を期待したい。

DIRT GRADE DATA 作戦

第24回
マリンカップ
Jpn III
4月2日(木)
3歳以上 船橋1600m
1着賞金 2500万円
フルゲート14頭

19.4.17 船橋 1600m 曇・稍重	6⑥ ラーゴブルー(川崎) 牝5 55 御神本訓史 1.40.6 3人人気 7⑦ アイアンテラー(JRA) 牝5 56 濱中 俊 1 1/2 1 8⑧ リエノテソロ(JRA) 牝5 56 大野拓弥 2 1/2 2
単勝⑥480円 馬連複(6-7)310円 馬連単(6-7)880円 3連複(6-7-8)220円 3連単(6-7-8)1,400円	
18.4.11 船橋 1600m 曇・良	6⑦ アンジュデジュール(JRA) 牝4 57 横山典弘 1.41.2 2人人気 2② クイーンマンボ(JRA) 牝4 57 C.ルメール 3/4 1 8⑩ ヤマニンアンプリメ(JRA) 牝4 55 鮫島良太 クビ 4
単勝⑦370円 枠連複(2-6)130円 馬連複(2-7)210円 枠連単(6-2)400円 馬連単(7-2)600円 3連複(2-7-11)470円 3連単(7-2-11)2,330円	
17.4.12 船橋 1600m 曇・重	8⑩ ホワイトフーガ(JRA) 牝5 58 蛭名正義 1.41.3 2人人気 7⑨ ララベル(大井) 牝5 55 森 泰斗 3 6 7⑧ リンダリダ(大井) 牝4 55 吉原寛人 2 4
単勝⑩290円 枠連複(7-8)520円 馬連複(9-11)5,430円 枠連単(8-7)790円 馬連単(11-9)6,630円 3連複(8-9-11)4,680円 3連単(11-9-8)26,060円	

●大井のマイル重賞実績馬にチャンス
過去5年、3着以内に好走した地方馬は5頭いる。その内4頭が南関東所属だ。2019年1着ラーゴブルー(川崎)と17年2着ララベル(大井)、16年2着ブルーチップ(大井)は東京シンデレラマイルで連対実績があった。そして、17年3着リンドリダ(大井)は同レース2着に加え、東京2歳優駿牝馬でも2着。つまり、大井のマイル重賞で好走実績がある馬はチャンスがあると言える。
中央馬は17年にはホワイトフーガ、15年にはサンピスタと前年のJBCレディスクラシックで勝利した馬が優勝。このようにGI/JpnIクラスの馬が出走してくれば信頼。重量が重くても地力で押し切れる。

第31回
東京スプリント
Jpn III
4月8日(水)
4歳以上 大井1200m
1着賞金 2700万円
フルゲート16頭

19.4.10 大井 1200m 雨・不良	4⑧ キタサンミカツキ(船橋) 牡9 57 森 泰斗 1.11.6 4人人気 3⑥ コパノキッキング(JRA) セ4 56 藤田菜七子 1 2 4⑦ ヒロシゲゴールド(JRA) 牡4 56 武 豊 クビ 1
単勝⑧780円 枠連複(3-4)300円 馬連複(6-8)950円 枠連単(4-3)580円 馬連単(8-6)2,890円 3連複(6-7-8)870円 3連単(8-6-7)8,020円	
18.4.18 大井 1200m 晴・不良	2③ グレイスフルリープ(JRA) 牡8 57 武 豊 1.11.8 6人人気 4⑦ キタサンミカツキ(船橋) 牡8 57 繁田健一 1 1/2 4 7⑬ ネロ(JRA) 牡7 56 内田博幸 1/2 3
単勝③1,170円 枠連複(2-4)1,220円 馬連複(3-7)5,220円 枠連単(2-4)1,860円 馬連単(3-7)11,570円 3連複(3-7-13)12,480円 3連単(3-7-13)102,430円	
17.4.19 大井 1200m 晴・稍重	8⑩ キタサンサジン(JRA) 牡5 56 内田博幸 1.12.7 1人人気 2② ブライトライン(JRA) 牡8 56 川田将雅 アタマ 3 7⑧ レーザーパレット(JRA) 牡9 56 戸崎圭太 1 1/4 4
単勝⑩240円 枠連複(2-8)410円 馬連複(2-10)450円 枠連単(8-2)780円 馬連単(10-2)810円 3連複(2-8-10)860円 3連単(10-2-8)2,980円	

●ハイレベルな一戦で地力が問われる
秋の東京盃やJBCスプリントにもつながる重要な一戦。JpnIIIながらレースレベルは高く、確かな地力がある馬が勝ちやすい。2019年は上がり馬のヒロシゲゴールドが1番人気に支持されたが、勝利したのは前年のJBCスプリント3着の実績馬キタサンミカツキ(船橋)で、9歳でも底力を見せつけた。この年の2着はコパノキッキング。前走はフェブラリーステークスで5着と善戦していた。同レース出走馬が適距離に戻って巻き返しというのは、よくあるパターン。16年1着のコーリンベリーは前走フェブラリーステークス15着だった。シンプルに大井1200mの重賞で実績がある馬が強いレースだ。

第22回
かきつばた記念
Jpn III
5月4日(祝・月)
4歳以上 名古屋1400m
1着賞金 未定
フルゲート12頭

19.5.1 名古屋 1400m 雨・不良	7⑩ ゴールドクイーン(JRA) 牝4 54 古川吉洋 1.25.1 2人人気 2② ヤマニンアンプリメ(JRA) 牝5 54 鮫島良太 2 1/2 1 8⑫ テーオーヘリオス(JRA) 牡7 57 濱中 俊 3 5
単勝⑩340円 枠連複(2-7)410円 馬連複(2-10)450円 馬連単(10-2)790円 3連複(2-10-12)1,640円 3連単(10-2-12)4,980円	
18.4.30 名古屋 1400m 曇・良	6⑦ サクセスエナジー(JRA) 牡4 54 松山弘平 1.25.9 2人人気 3③ キングズガード(JRA) 牡7 58 藤岡佑介 3/4 1 8⑪ サンライズメジャー(JRA) 牡9 56 大野拓弥 クビ 9
単勝⑦380円 枠連複(3-6)320円 馬連複(3-7)420円 馬連単(7-3)840円 3連複(3-7-11)5,080円 3連単(7-3-11)16,010円	
17.5.3 名古屋 1400m 晴・良	2② トウケイタイガー(兵庫) 牡6 52 川原正一 1.26.8 2人人気 7⑨ タムロミラル(JRA) 牡5 55 川田将雅 4 4 5⑥ ショコラブラン(JRA) 牡5 56 M.デムーロ クビ 1
単勝②490円 枠連複(2-7)1,930円 馬連複(2-9)1,830円 馬連単(2-9)3,070円 3連複(2-6-9)1,380円 3連単(2-9-6)11,040円	
16.5.3 名古屋 1400m 曇・良	3③ ノボバカラ(JRA) 牡4 54 M.デムーロ 1.27.0 2人人気 8⑨ ブルドッグボス(JRA) 牡4 54 C.ルメール 2 3 7⑦ レーザーパレット(JRA) 牡8 55 戸崎圭太 1 1/2 4
単勝③270円 枠連複(3-8)440円 馬連複(3-9)450円 馬連単(3-9)820円 3連複(3-7-9)930円 3連単(3-9-7)3,060円	
15.5.4 名古屋 1400m 小雨・重	4④ コーリンベリー(JRA) 牝4 52 松山弘平 1.25.1 1人人気 1① レーザーパレット(JRA) 牡7 54 横山典弘 1 1/2 3 7⑨ メイショウコロソ(JRA) 牡6 55 武幸四郎 1 1/2 2
単勝④150円 枠連複(1-4)440円 馬連複(1-4)440円 馬連単(4-1)620円 3連複(1-4-9)150円 3連単(4-1-9)830円	

●トップハンデ馬が善戦中
4年連続で2番人気に勝利している。1番人気も3年連続で3着以内に入っているが、(2017年から)ハンデ戦になった影響が多少あるかもしれない。トップハンデとなった19年ウインムート(57.5キロ)は3番人気で4着、18年キングズガード(58キロ)は1番人気で2着、17年レーザーパレット(58キロ)は3番人気で6着と、人気を下回る結果に終わっている。
2016年以前でも重量が重い馬が苦しむケースはあったが、現在は一層注意したい点かもしれない。手ごろなハンデで出走できるという意味では、ダートグレードを勝っていないことが逆にプラスになる。中央馬はできればオープン特別を勝利して臨みたいが、3勝クラスを勝ったばかりでも通用することがある。1400mの距離が得意な馬であれば、チャンスがあると考えたい。
地方馬は近年、17年のトウケイタイガー(兵庫)と14年のタガノジંગガ口(兵庫)が勝利。ともに元中央馬だった。前走で地方のレースを勝利していたが、ダートグレードで馬券に絡んだ実績はなかった。

第32回
かしわ記念
Jpn I
5月5日(祝・火)
4歳以上 船橋1600m
1着賞金 6000万円
フルゲート14頭

19.5.6 船橋 1600m 晴・稍重	8⑩ ゴールドドリーム(JRA) 牡6 57 C.ルメール 1.40.2 2人人気 6⑥ インティ(JRA) 牡5 57 武 豊 1 1/2 1 6⑦ アポロケンタッキー(JRA) 牡7 57 戸崎圭太 2 7
単勝⑩190円 枠連複(6-8)120円 馬連複(6-10)120円 枠連単(8-6)270円 馬連単(10-6)300円 3連複(6-7-10)560円 3連単(10-6-7)1,630円	
18.5.2 船橋 1600m 雨・良	6⑦ ゴールドドリーム(JRA) 牡5 57 C.ルメール 1.39.2 2人人気 3③ オールブラッシュ(JRA) 牡6 57 田邊裕信 1 6 8⑪ インカンテーション(JRA) 牡8 57 三浦皇成 アタマ 1
単勝⑦320円 枠連複(3-6)5,100円 馬連複(3-7)5,830円 枠連単(6-3)9,420円 馬連単(7-3)9,520円 3連複(3-7-11)3,930円 3連単(7-3-11)32,670円	
17.5.5 船橋 1600m 晴・良	1① コパノリッキー(JRA) 牡7 57 武 豊 1.39.9 2人人気 2② インカンテーション(JRA) 牡7 57 岩田康誠 2 5 3③ モーニン(JRA) 牡5 57 C.ルメール クビ 3
単勝①320円 枠連複(1-2)1,100円 馬連複(1-2)1,040円 枠連単(1-2)1,060円 馬連単(1-2)1,740円 3連複(1-2-3)1,620円 3連単(1-2-3)6,930円	

●距離実績を重視する
2019年は2番人気のゴールドドリームが1番人気のインティを下して優勝。フェブラリーステークスのリベンジを果たし、かしわ記念連覇を果たした。同一馬による複数回優勝は、コパノリッキー(14.16.17年)やエスポワールシチー(09、10、12年)も達成している。ダート1600mを得意にしている馬が何都好走する印象だ。中央馬は前走フェブラリーステークス組が大井。仮に大きく負けていても巻き返してくるケースはある。
地方馬は16年にソルテ(大井)が6番人気で2着に入っている。7連勝中の勢いと先行力武器に食い込んだ。

第21回
兵庫
チャンピオンシップ
Jpn II
5月6日(振・水)
3歳 園田1870m
1着賞金 未定
フルゲート12頭

19.5.2 兵庫 1870m 晴・重	7⑨ クリソベリル(JRA) 牡3 56 C.ルメール 1.57.3 1人人気 8⑫ ヴァイトブリック(JRA) 牡3 56 戸崎圭太 5 2 5⑤ パンローズキングス(兵庫) 牡3 56 吉村智洋 2 1/2 7
単勝⑨110円 枠連複(7-8)130円 馬連複(9-12)130円 馬連単(9-12)170円 3連複(5-9-12)10,370円 3連単(9-12-5)26,980円	
18.5.3 園田 1870m 晴・稍重	3③ テーオーエナジー(JRA) 牡3 56 岩田康誠 2.00.0 1人人気 4④ ビッグスマーキー(JRA) 牡3 56 濱中 俊 5 2 5⑤ キャベンディッシュ(JRA) 牡3 56 M.デムーロ 1 1/2 3
単勝③140円 枠連複(3-4)200円 馬連複(3-4)220円 馬連単(3-4)320円 3連複(3-4-5)340円 3連単(3-4-5)890円	
17.5.4 園田 1870m 晴・良	6⑦ タガノディゴ(JRA) 牡3 56 川島信二 2.00.6 3人人気 5⑥ ノーブルサターン(JRA) 牡3 56 鮫島良太 3/4 5 1① クイーンマンボ(JRA) 牝3 54 北村友一 3 2
単勝⑦600円 枠連複(5-6)1,700円 馬連複(6-7)4,280円 馬連単(7-6)7,930円 3連複(1-6-7)3,110円 3連単(7-6-1)28,970円	

●中央馬が強く堅い決着
近年は非常に堅い傾向。過去5年中、2017年を除く4年が人気上位2頭によるワンツー決着となっている。この時期になると中央馬の層が厚くなり、力関係もだいたい分かる。新馬戦や未勝利戦での大楽勝・好時計勝ちは安心できないこともあるが、1勝クラス以上での好パフォーマンスはあてになる。オープンクラスで好走しているか、ダート1800mの1勝クラスを好時計で勝っている馬を素直に評価したい。
2019年は1番人気のクリソベリルが楽勝。前評判通りの走りだった。ここで強い勝ち方をすれば夏のジャパンダートダービーでも期待できる。

第24回 さきたま杯 Jpn II
5月27日(水)
4歳以上 浦和1400m
1着賞金3100万円
フルゲート12頭

19.5.29 浦和 1400m 曇・良	7⑨ ウインムート(JRA) 牡6 56 和田竜二 1.25.3 4人気 8③ サクセスエナジー(JRA) 牡5 57 池添謙一 2 1/2 1 11① キタサンミカヅキ(船橋) 牡9 57 森 泰斗 2 2
18.5.30 浦和 1400m 雨・良	2② サクセスエナジー(JRA) 牡4 56 松山弘平 1.26.2 1人気 11① キタサンミカヅキ(船橋) 牡8 57 繁田健一 ハナ 5 8③ アンサンブルライフ(浦和) 牡5 56 的場文男 4 9
17.5.31 浦和 1400m 曇・良	5⑥ ホワイトフーガ(JRA) 牡5 56 蛭名正義 1.25.7 3人気 2② モーニン(JRA) 牡5 58 C.ルメール 4 2 6⑧ ベストウオーリア(JRA) 牡7 58 戸崎圭太 2 1

●1番人気は強いが前年好走馬は案外
過去5年の単勝1番人気は2勝、2着2回、3着1回と信頼度が高い。前走かしわ記念善戦馬が、東京スプリントやかきつばた記念の好走馬が有力。1400mがベストの馬が優勢ながら、1200mや1600mを得意としている馬にもチャンスがある。ただし、前年の好走馬は案外だ。
近年ではサクセスエナジー(2018年1着→19年2着)やベストウオーリア(16年2着→17年3着)、セイクリズムン(12年1着→13年2着→14年3着)などが翌年に着順を一つ落としている。ノーザンリバーは連覇(14、15年)を達成しているので一概にダメとは言えないが、気になる傾向だ。

第24回 北海道スプリントカップ Jpn III
6月4日(木)
3歳以上 門別1200m
1着賞金 未定
フルゲート16頭

19.6.6 門別 1200m 曇・稍重	6⑫ ヤマニアンプリメ(JRA) 牝5 54 岩田康誠 1.11.5 1人気 8⑬ メイショウアイアン(北海道) 牡9 56 落合玄太 3 8 2③ ノボパカラ(JRA) 牡7 57 阿部 龍 クビ 4
18.6.7 門別 1200m 晴・良	2③ テーオーヘリオス(JRA) 牡6 56 濱中 俊 1.12.9 1人気 8⑤ ラパレット(岩手) 牡7 56 山本聡哉 クビ 3 5⑩ スノードラゴン(JRA) 牡10 59 五十嵐冬樹 アタマ 5
17.6.8 門別 1200m 曇・不良	2③ ニシケンモノノフ(JRA) 牡6 57 横山典弘 R1.09.4 1人気 7⑭ ショコラブラン(JRA) 牡5 56 戸崎圭太 4 2 5⑨ スノードラゴン(JRA) 牡9 59 大野拓弥 クビ 3

●短距離 Jpn Iにつながる注目レース
19年1着ヤマニアンプリメは、同年にJBCレディスクラシック(浦和1400m)を制覇。17年1着ニシケンモノノフと16年1着ダノンレジェンドもやはり同年にJBCスプリントを優勝と、同年秋の短距離 Jpn Iにつながる注目の一戦となっている。
基本的には実績上位で好調を維持している人気馬が強い。しかし、19年は2着に8番人気のメイショウアイアン(北海道)が食い込んだ。元中央馬とはいえ、実績・年齢を考えると狙いにくいタイプだった。15年2着のポアゾンブラック(北海道)も直前まで中央にいた。穴ならば中央に所属経験がある北海道の馬ということになりそうだ。

第56回 関東オークス Jpn II
6月10日(水)
3歳牝馬 川崎2100m
1着賞金3200万円
フルゲート14頭

19.6.12 川崎 2100m 曇・重	8⑭ ラインカーリーナ(JRA) 牝3 54 武藤 雅 2.17.7 4人気 8⑬ マドラスチェック(JRA) 牝3 54 大野拓弥 2 1 4⑥ トーセンガーネット(浦和) 牝3 54 左海誠二 大差 2
18.6.13 川崎 2100m 晴・稍重	4⑤ ハービンマオ(JRA) 牝3 54 松岡正海 2.17.6 6人気 5⑥ ゴールドパテック(川崎) 牝3 54 山崎誠士 3/4 5 8③ クレイジーアクセル(大井) 牝3 54 御神本訓史 4 3
17.6.14 川崎 2100m 晴・重	7⑩ クイーンマンボ(JRA) 牝3 54 C.ルメール 2.19.0 1人気 5⑥ アンジュデジュール(JRA) 牝3 54 横山典弘 4 3 1① ステップオブダンス(大井) 牝3 54 森 泰斗 3 6

●中央馬が中心も難解
基本的には中央馬が中心となるレース。地方勢も大井の東京プリンセス賞好走馬ならばチャンスはあるが、勝ち切るのは相当難しい。中央勢は前走が重賞や、オープン特別の善戦馬から入ることになるのだが、予想は難解。2019年は4番人気のラインカーリーナが優勝。15年1着のホワイトフーガは2番人気だった。実力がある馬でも、このレースの時点では対戦経験があるケースも少ないため、各馬の力量比較が難しい。
血統的には中央のダート重賞でも強い馬・系統が狙い目。特にゴールドアリュールの血を持つ馬に注意。18年1着ハービンマオは、父は芝馬のハービンジャーだが、母父がゴールドアリュールだった。

第43回 帝王賞 Jpn I
6月24日(水)
4歳以上 大井2000m
1着賞金6000万円
フルゲート16頭

19.6.26 大井 2000m 晴・重	4⑤ オメガパフューム(JRA) 牡4 57 D.レーン 2.04.4 3人気 11① チュウワウヰザード(JRA) 牡4 57 川田将雅 1 1/4 2 8⑬ ノンコノユメ(大井) 牡7 57 真島大輔 アタマ 8
18.6.27 大井 2000m 晴・良	8④ ゴールドリーム(JRA) 牡5 57 C.ルメール 2.04.2 2人気 2② ケイティプレイブ(JRA) 牡5 57 福永祐一 クビ 1 6⑩ サウンドトゥルー(JRA) 牡8 57 大野拓弥 1 1/2 4
17.6.28 大井 2000m 曇・重	2③ ケイティプレイブ(JRA) 牡4 57 福永祐一 2.04.4 6人気 5⑩ クリンライト(JRA) 牡7 57 戸崎圭太 1 3/4 5 11② アウオーディー(JRA) 牡7 57 武 豊 3 1

●馬場適性や展開がカギ
2019年は1番人気のインティが6着に敗れた。本来の実力が発揮できなかったのは、大井2000mが初めてだったことも大きい。現役トップクラスの馬が集まるレースで、基本的には実力は拮抗している。そうすると勝敗を分けるのは馬場適性や展開だ。19年に2番人気で2着だったチュウワウヰザードも初の大井コースだった。オメガパフュームが勝利し、古豪ノンコノユメが3着に入ったのは、コース適性の差でもあるだろう。
過去5年では1番人気1頭(15年ホッコータルマエ)しか勝利していない。簡単に人気サイドでは決まらないので、馬券的にも妙味がある。

LOTO 高額配当ランキング
Odds Park
2019年12月1日～2020年2月29日

[五重勝単勝式]

第1位	3,229,800円(1口)	12/3 笠松
第2位	2,604,660円(2口)	1/16 姫路
第3位	1,302,280円(1口)	2/3 笠松
第4位	1,183,210円(1口)	1/12 帯広
第5位	1,081,180円(2口)	2/20 園田
第6位	974,860円(9口)	12/29 園田
第7位	921,360円(3口)	2/24 園田

[七重勝単勝式]

第1位	4,459,560円(1口)	2/22 佐賀
第2位	1,133,370円(1口)	1/6 帯広

読者プレゼント

① 中島龍也 騎手直筆
サイン色紙…2名様
提供：中島龍也 騎手

② オッズパークオリジナルお箸…10名様
提供：オッズ・パーク株式会社

ご希望の方は官製はがきに、①ご希望のプレゼント名、②住所・氏名、③年齢、④本誌に対するご意見・感想、⑤Odds Parkを利用してのご感想、⑥Odds Parkへのご意見・要望を明記の上、下記まで。締切は4月20日(月)の消印有効。当選者の発表は景品の発送をもって代えさせていただきます。なお、個人情報については景品の発送以外の目的では使用いたしません。
〒901-0298 沖縄県豊見城市豊崎 オッズパークサポートセンター OPCプレゼント係

開催日程

☆☆ ナイター開催時の投票開始時間 ☆☆☆
 兵庫(園田)、高知 …………… ナイター開催当日 10:00 ~
 ばんえい帯広、ホッカイドウ、南関東 … ナイター開催当日 12:00 ~

DG ダートグレード開催日 (重賞) 重賞開催日
 ☆: 薄暮取扱 ☆: ナイター取扱

4月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
ばんえい帯広																								★	★	★	★			
ホッカイドウ別															★	★							★	重賞					★	★
岩手盛岡/水沢					水沢 ☆☆ 重賞	水沢 ☆☆ 重賞	水沢 ☆☆					水沢 ☆☆ 重賞	水沢 ☆☆	水沢 ☆☆						水沢 ☆☆	水沢 ☆☆	水沢 ☆☆				水沢 ☆☆ 重賞	水沢 ☆☆	水沢 ☆☆		
金沢					☆☆		☆☆						☆☆	☆☆						☆☆		☆☆						☆☆ 重賞	☆☆	
笠松		重賞																												重賞
名古屋									重賞														重賞							
兵庫園田/姫路	園田	園田					園田	園田	園田					園田	園田	園田					園田	園田	園田					園田	園田	園田
高知											★	★							★	★ 重賞						★	★			
佐賀				☆☆	☆☆ 重賞						☆☆	☆☆							☆☆	☆☆					☆☆	☆☆ 重賞				
南関東DG		★船橋 DG							★大井 DG																					

5月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
ばんえい帯広		★ 重賞	★						★ 重賞	★						★	★	★					★	★	★					★	★
ホッカイドウ別					★	★							★	★ 重賞							★	★ 重賞					★	★	★		
岩手盛岡/水沢			水沢 ☆☆ 重賞	水沢 ☆☆	水沢 ☆☆					水沢 ☆☆ 重賞	水沢 ☆☆	水沢 ☆☆					盛岡 ☆☆	盛岡 ☆☆	盛岡 ☆☆						盛岡 ☆☆ 重賞	盛岡 ☆☆	盛岡 ☆☆				盛岡 ☆☆
金沢				☆☆ 重賞	☆☆					☆☆		☆☆					☆☆ 重賞	☆☆	☆☆					☆☆ 重賞	☆☆	☆☆				☆☆	
笠松																							重賞								
名古屋	重賞			DG																											
兵庫園田/姫路				園田	園田	園田							園田	園田	園田						園田	園田	園田				園田	園田	園田		
高知			★ 重賞	★ 重賞					★	★						★	★							★	★					★	★
佐賀		☆☆	☆☆ 重賞	☆☆					☆☆	☆☆						☆☆	☆☆							☆☆	☆☆ 重賞				☆☆	☆☆ 重賞	
南関東DG					船橋 DG																						浦和 DG				

6月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
ばんえい帯広	★					★	★	★					★	★	★						★	★ 重賞	★					★	★	★	
ホッカイドウ別			★	★ DG					★	★	★						★	★ 重賞					★	★	★					★ 重賞	
岩手盛岡/水沢	盛岡 ☆☆	盛岡 ☆☆					盛岡 ☆☆ 重賞	盛岡 ☆☆	盛岡 ☆☆					水沢 ☆☆	水沢 ☆☆	水沢 ☆☆					水沢 ☆☆ 重賞	水沢 ☆☆	水沢 ☆☆				水沢 ☆☆ 重賞	水沢 ☆☆	水沢 ☆☆		
金沢		☆☆ 重賞					☆☆ 重賞		☆☆					☆☆	☆☆	☆☆					☆☆		☆☆ 重賞	☆☆	☆☆			☆☆	☆☆		
笠松				重賞																											
名古屋								重賞																							
兵庫園田/姫路			園田	園田	園田					園田	園田	園田					園田	園田	園田					園田	園田	園田					
高知													★	★ 重賞							★	★						★	★		
佐賀					☆☆	☆☆							☆☆	☆☆							☆☆	☆☆ 重賞						☆☆	☆☆		
南関東DG										★川崎 DG																★大井 DG					

※日程は変更となる場合がございますのでご注意ください。
 ※南関東地区で行われるダートグレード競走については、市中銀行会員のみ投票できます。
 ※ホッカイドウ競馬については、市中銀行会員・ジャパンネット銀行会員のみ投票できます。

重賞&ダートグレード日程(2020年4月~6月)

4月	競馬場	実施日	競走名	重賞	競走条件	距離	備考
	船橋	2(木)	第24回 マリーンカップJpnⅢ	DG	3歳以上牝馬	1,600	中央・地方全国交流
	笠松	2(木)	第46回 新緑賞	重賞	3歳	1,600	
	水沢	5(日)	第45回 スプリングカップ	重賞	3歳	1,600	
	佐賀	5(日)	第19回 ル・プランタン賞	重賞	3歳牝馬	1,800	地方全国交流
	水沢	6(月)	第45回 あやめ賞	重賞	3歳牝馬	1,400	
	大井	8(水)	第31回 東京スプリントJpnⅢ	DG	4歳以上	1,200	中央・地方全国交流
	名古屋	9(木)	第60回 東海桜花賞	重賞	4歳以上	1,400	地方全国交流
	水沢	12(日)	第45回 赤松杯	重賞	3歳以上	1,600	
	園田	16(木)	第52回 菊水賞	重賞	3歳	1,700	
	高知	19(日)	第36回 二十四万石賞	重賞	4歳以上	1,900	
	名古屋	21(火)	第26回 東海クイーンカップ	重賞	3歳牝馬	1,800	地方全国交流
	門別	23(木)	第10回 コスモバルク記念	重賞	3歳以上	1,800	地方全国交流
	水沢	26(日)	第20回 留守杯日高賞	重賞	3歳牝馬	1,600	地方全国交流
	佐賀	26(日)	第3回 佐賀スプリングカップ	重賞	3歳以上	1,800	
	金沢	28(火)	第30回 金沢スプリングカップ	重賞	4歳以上	1,900	
	笠松	30(木)	第29回 オグリキャップ記念	重賞	4歳以上	2,500	地方全国交流
5月	名古屋	1(金)	第59回 駿蹄賞	重賞	3歳	1,800	
	帯広	3(祝・日)	第14回 ばんえい十勝オッズパーク杯	重賞	4歳以上選抜	200	
	水沢	3(祝・日)	第40回 ダイヤモンドカップ	重賞	3歳	1,600	
	高知	3(祝・日)	第24回 黒潮皐月賞	重賞	3歳	1,400	
	佐賀	3(祝・日)	第8回 佐賀皐月賞	重賞	3歳	1,800	
	金沢	4(祝・月)	第28回 北日本新聞杯	重賞	3歳	1,700	
	名古屋	4(祝・月)	第22回 かきつばた記念JpnⅢ	DG	4歳以上	1,400	中央・地方全国交流
	高知	4(祝・月)	第11回 福永洋一記念	重賞	4歳以上	1,600	
	船橋	5(祝・火)	第32回 かしわ記念JpnI	DG	4歳以上	1,600	中央・地方全国交流
	園田	5(祝・火)	第56回 兵庫大賞典	重賞	4歳以上	1,870	
	園田	6(振・水)	第21回 兵庫チャンピオンシップJpnII	DG	3歳	1,870	中央・地方全国交流
	帯広	10(日)	第12回 カーネーションカップ	重賞	3歳以上牝馬	200	
	水沢	10(日)	第45回 シアンモア記念	重賞	3歳以上	1,600	
	門別	14(木)	第44回 北斗盃	重賞	3歳	1,600	地方全国交流
	園田	14(木)	第58回 のじぎく賞	重賞	3歳牝馬	1,700	地方全国交流
	金沢	17(日)	第1回 ノトキリシマ賞	重賞	3歳牝馬	1,500	
	門別	21(木)	第57回 赤レンガ記念	重賞	3歳以上	2,000	地方全国交流
	笠松	22(金)	第2回 飛山濃水杯	重賞	4歳以上	1,400	北陸・東海・近畿地区交流
	盛岡	24(日)	第5回 早池峰スーパースプリント	重賞	3歳以上	1,000	
	金沢	24(日)	第1回 利家盃	重賞	4歳以上	2,000	
	佐賀	24(日)	第4回 佐賀ヴィーナスカップ	重賞	4歳以上牝馬	1,400	地方全国交流
	浦和	27(水)	第24回 さきたま杯JpnII	DG	4歳以上	1,400	中央・地方全国交流
	佐賀	31(日)	第62回 九州ダービー栄城賞	重賞	3歳	2,000	
6月	金沢	2(火)	第4回 石川ダービー	重賞	3歳	2,000	
	門別	4(木)	第24回 北海道スプリントカップJpnⅢ	DG	3歳以上	1,200	中央・地方全国交流
	笠松	4(木)	第3回 ぎふ清流カップ	重賞	3歳	1,400	北陸・東海・近畿地区交流
	園田	4(木)	第58回 六甲盃	重賞	4歳以上	2,400	地方全国交流
	盛岡	7(日)	第28回 東北優駿(岩手ダービー)	重賞	3歳	2,000	
	金沢	7(日)	第2回 徽軫(ことじ)賞	重賞	3歳以上牝馬	1,500	
	名古屋	9(火)	第50回 東海ダービー	重賞	3歳	1,900	
	川崎	10(水)	第56回 関東オークスJpnII	DG	3歳牝馬	2,100	中央・地方全国交流
	園田	11(木)	第21回 兵庫ダービー	重賞	3歳	1,870	
	高知	14(日)	第48回 高知優駿(黒潮ダービー)	重賞	3歳	1,900	地方全国交流
	門別	17(水)	第6回 ヒダカソウカップ	重賞	3歳以上牝馬	1,600	地方全国交流
	門別	18(木)	第48回 北海優駿(ダービー)	重賞	3歳	2,000	地方全国交流
	笠松	19(金)	第44回 クイーンカップ	重賞	3歳牝馬	1,600	北陸・東海・近畿地区交流
	帯広	21(日)	第28回 北斗賞	重賞	3歳以上	200	
	水沢	21(日)	第48回 一條記念みちのく大賞典	重賞	3歳以上	2,000	
	佐賀	21(日)	第2回 佐賀がばいダッシュ	重賞	3歳以上	900	
	金沢	23(火)	第63回 百万石賞	重賞	3歳以上	2,100	
	大井	24(水)	第43回 帝王賞JpnI	DG	4歳以上	2,000	中央・地方全国交流
	園田	25(木)	第10回 園田FCスプリント	重賞	3歳以上	820	近畿・四国地区交流
	水沢	28(日)	第44回 ウイナーカップ	重賞	3歳	1,400	
	門別	30(火)	第45回 栄冠賞	重賞	2歳	1,200	地方全国交流

※開催内容が変更となる場合がございますのでご注意ください。



金沢 春のハイライト!

3歳頂上決戦 石川ダービー!

サラ系3歳、2020年6月2日(火) 2,000m

優勝馬 ロンギングルック 騎手 中島 龍也

● オッズパークで投票できる勝馬投票券

すべてのレースに投票できます(ホッカイドウ競馬については、市中銀行会員・ジャパンネット銀行会員のみ投票できます)

競馬場	場番号	最大出走頭数	単勝(単)	複勝(複)	連勝複式		連勝単式		三連勝		重勝式		投票方式				レース実況
					枠番 普通(馬) 枠番 拡大(馬)	馬番 枠番 枠番	枠番 馬番 馬番	馬番 三連 三連	セレクト 5	セレクト 7	ランダム 7	電話投票 ARS	インターネット オッズパーク 投票	クラシック 投票	携帯 スマートフォン 投票		
ばんえい帯広	03	10	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-991-073(帯広市)
ホッカイドウ門別	06	16	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-991-234(札幌市)
盛岡	11	15	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-991-335(盛岡開催)(盛岡市) 0180-991-336(水沢開催)(奥州市)
水沢	12	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-997-553(金沢市) 076-257-7711
金沢	41	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-995-001(笠松町)
笠松	42	10	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-995-711(名古屋市)
名古屋	43	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-996-200(園田開催)(尼崎市) 0180-997-200(姫路開催)(姫路市)
園田	51	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-998-991(高知市)
姫路	52	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-999-211(鳥栖市)
高知	55	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
佐賀	61	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	

※販売賭式は変更になる場合がございます。 ※重勝式は、インターネット投票(クラシック投票は除く)のみ投票できます。

ダートグレード競走のみ投票することができます(市中銀行会員のみ投票できます)

浦和	31	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-993-400 (東京03エリア)
船橋	32	14	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
大井	33	16	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
川崎	34	14	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	

オッズパーク
サポートセンター

電話 0570-006889 (ナビダイヤル) / 03-6837-4500 FAX 098-851-0988
受付時間 10:00~21:00(ナイター非開催日は17:30まで) ※施設点検日およびメンテナンス日は休業

インターネット投票

パソコン <http://www.oddspar.com/>
携帯 <http://m.oddspar.com/>
スマートフォン <https://sp.oddspar.com/>

電話投票

0570-011100(ナビダイヤル)
03-6833-0111

※投票はどちらの投票用電話番号でもご利用になれます。

レース結果案内(全主催者共通)

0570-011555(ナビダイヤル)
03-6748-0100
03-6748-0101

※番号をよくご確認のうえ、お間違のないようお願いいたします。

※「0180」「0570」で始まる電話番号は、一部の携帯電話・PHSからはご利用になれません。また、NTT以外の電話会社と契約されている場合はご利用いただけない場合がございます。

※「0180」で始まる電話番号は(固定電話)音源所在地までの一般ダイヤル通話料(携帯電話)全国一律14秒10円(3分130円)がかかりますのでご注意ください。

※ナビダイヤル(「0570」で始まる電話番号)の通常電話からの通話料金は、全国一律で一般電話からは1分10円、携帯電話からは20秒10円です。